

令和7年度第3回指宿市地域公共交通活性化協議会 議 案 書

議案第1号 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に伴う事業評価について

1 提案理由

今年度、本協議会は令和7年度地域公共交通確保維持改善事業補助金のうち、イッシーバス・乗合タクシーの運行費に対する補助金である「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」の交付を受ける予定です。

この補助金の交付を受けるにあたって、本協議会において事業評価（自己評価）をすることが義務づけられています。

このことから、補助事業の自己評価について、次ページ以降のとおり取りまとめたので、内容についてお諮りします。

2 自己評価の内容（以下に要点を列記します。詳細は次葉以降のとおり）

- (1) イッシーバスは、片道1便あたりの乗車人数が目標を下回った。
- (2) 乗合タクシー畠久保・西方線は、運行実績回数が計画運行回数の30%未満であったので、補助金の交付要件を満たさなかった。
- (3) 乗合タクシー魚見線・尾下線・開聞線では、1便あたりの乗車人数が目標値を下回った。
- (4) 今後の改善点としては、指宿市地域公共交通計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図り、以下の利用促進策を講じる。
 - ① 指宿市のりものガイドの発行
 - ② 出前講座や住民との意見交換会の実施
 - ③ 地域の方の要望に応じ、随時運行ルートの変更等を行う
 - ④ 来庁できない利用希望者に対する、現地説明及び申込受付
 - ⑤ 令和8年10月を目途に、イッシーバスを廃止して、地域公共交通体系の大幅見直しを行う予定

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月 日

協議会名: 指宿市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
鹿児島交通(株)	コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (1) 小牧～ニシムタ指宿店線 (2) 川尻～なのはな館線	○ 指宿市のりものガイドの新刊を発行し、医療機関を中心に配布することで、メインターゲットとなる高齢者への周知活動を行った。 ○ 令和8年10月を目途に、コミュニティバス(イッシーバス)から、他の交通モードへ転換を図る予定。 これに併せて既存の乗合タクシーについても見直しを行い、路線の新設・再編や停留所の見直しを併せて行う予定。	A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。	B 利用者の減少により、乗合率が低くなっており、目標を達成できなかった。 B	■ 令和6年3月に策定した指宿市地域公共交通計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ■ 地域公共交通の利用促進対策を講じる。 (1) 指宿市のりものガイドの発行 (2) 出前講座や住民との意見交換会の実施 (3) 地域の方の要望に応じ、随時運行ルートの変更等を行う。 (4) 来庁できない利用希望者に対する、現地説明及び申込受付 ■ 令和8年10月を目途に、イッシーバスを廃止して、地域公共交通体系の大幅見直しを行う予定
指宿観光交通(株)	予約型乗合タクシーの運行 (1) 畠久保・西方線		A 計画どおり適切に実施した。	B 利用者の減少により、運行回数及び1便当たり乗車人数が少なくなっており、目標を達成できなかった。	
鹿児島第一交通(株)	予約型乗合タクシーの運行 (1) 池田線 コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (1) 小牧～ニシムタ指宿店線(補完)		A 計画どおり適切に実施した。 B	A 乗合タクシー池田線は目標どおりの乗車率を達成することができたが、イッシーバスについては1便あたり乗車人数が目標を下回った。 B	
(株)鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (1) 魚見線 (2) 鰻線 (3) 尾下線		A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。	B 利用者の減少により、乗合率が低くなっており、魚見線及び尾下線において目標を達成できなかった。 A B	
(株)南九州あづま交通	予約型乗合タクシーの運行 (1) 開聞線 コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (1) 川尻～なのはな館線(補完)		A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。	B イッシーバスは乗車率の目標を達成することができなかった。乗合タクシーは運行回数こそ計画を大幅に上回る実績をあげたものの、1便あたりの乗車人数が目標を下回った。 B	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月 日

協議会名：	指宿市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	当市は、薩摩半島の南端に位置し、鹿児島市及び南九州市へ通じる地域間幹線交通である鉄道及び路線バスを軸に、市域内に路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、フェリーにより構成される公共交通機関網が広がっている。これらの公共交通については、車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。 また、地域間幹線交通に通じる路線バス、コミュニティバスが支線の役割を果たしており、市内周辺部から市内中心部を結ぶ地域住民の移動手段となっており、同時に、当該路線が市内に点在する観光地を結んでいることから、観光客の移動手段としての性格も併せ持っている。 上記の交通機関でカバーできない地域には、予約型乗合タクシーを導入することで、上記の公共交通を補完する体制を構築している。 しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。加えて、コロナ禍の時期に公共交通利用者が急減して以降、現在においてもコロナ禍以前の水準に回復しておらず、公共交通事業者の収支悪化に拍車をかけている。 このため、地域公共交通確保維持事業により、指宿市コミュニティバス(イッシーバス)及び指宿市予約型乗合タクシー(あいタク)を確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

概要

1 コミュニティバス(イッシーバス)

高齢者をはじめとする交通弱者への交通手段の確保や、交通空白地域の解消を図るため、平成14年10月からコミュニティバス(イッシーバス)を運行している。

路線名	運行事業者
小牧～シム指宿店線	鹿児島交通(株)
川尻～なのはな館線	鹿児島交通(株)
小牧～シム指宿店線(補完)	鹿児島第一交通(株)
川尻～なのはな館線(補完)	(株)南九州あづま交通

2 予約型乗合タクシー(あいタク)

路線バスやコミュニティバスが運行しない交通不便地域を対象に、地域住民の日常の移動手段を確保するとともに、既存の交通網との連携を考慮し、地域に合った効率的で利便性の高い地域公共交通の維持・向上を図るため、令和2年4月から乗合タクシーを運行している。

路線名	島久保・西方線	池田線	魚見線	鰻線	尾下線	開聞線
運行事業者	指宿観光交通(株)	鹿児島第一交通(株)	(株)鹿屋自動車学校	(株)鹿屋自動車学校	(株)鹿屋自動車学校	(株)南九州あづま交通

基礎データ

合併状況: 平成18年1月に1市2町が合併(指宿市・山川町・開聞町)
 人口: 36,847人(令和7年4月現在) ※住民基本台帳
 面積: 148.82平方キロメートル
 過疎地域等指定: 過疎、半島
 高齢化率: 42.1%(R7.4.1住民基本台帳より)
 補助対象の系統数: 9系統(確保維持事業のみ)
 自治体負担額: R6 19,176千円(確保維持事業のみ)
 協議会開催数: 協議会3回(年間の開催数を記載)

計画、目標(Plan)

市内循環バスの各路線及び予約型乗合タクシーを維持することにより、市内の中山間地から市内中心部へ向かう高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保する。

また、JR指宿枕崎線や地域間幹線系統からなる幹線交通と、廃止代替バス・コミュニティバス・乗合タクシーからなる支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系を実現する。

生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

指宿市地域内フィーダー系統確保維持計画に沿ってコミュニティバス及び予約型乗合タクシーの運行を行い、日常生活に必要な移動手段を確保した。

実施状況、目標の達成(Check)

○イッシーバスの1便当たり乗車人数	○あいタクの1便当たり乗車人数
小牧～シム指宿店線: 2.20人(目標2.70人以上)	島久保・西方線: 1.33人(目標1.35人以上)
川尻～なのはな館線: 3.05人(目標3.75人以上)	池田線: 1.82人(目標1.45人以上)
○イッシーバス(代替運行)の1便当たり乗車人数	魚見線: 1.67人(目標1.80人以上)
小牧～シム指宿店線: 1.75人(目標2.70人以上)	鰻線: 1.64人(目標1.60人以上)
川尻～なのはな館線: 3.65人(目標3.75人以上)	尾下線: 1.00人(目標1.10人以上)
※ あいタク島久保・西方線は計画運行回数の30%以下	開聞線: 1.00人(目標1.15人以上)

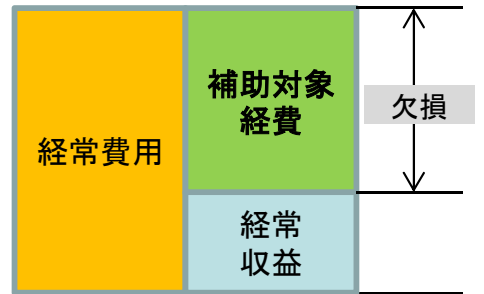
今後の課題、対応(Action)

- 指宿市地域公共交通計画(令和6年3月策定)に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。
- 出前講座や意見交換会を通じ、普及啓発とニーズの把握を行う。
- 指宿市のりものガイドを発行し、周知と利用拡大を図る。
- 乗務員不足や利用の動向を勘案し、他の交通モードへの移行も含め、効率的な移動手段を継続して検討する。

地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援。

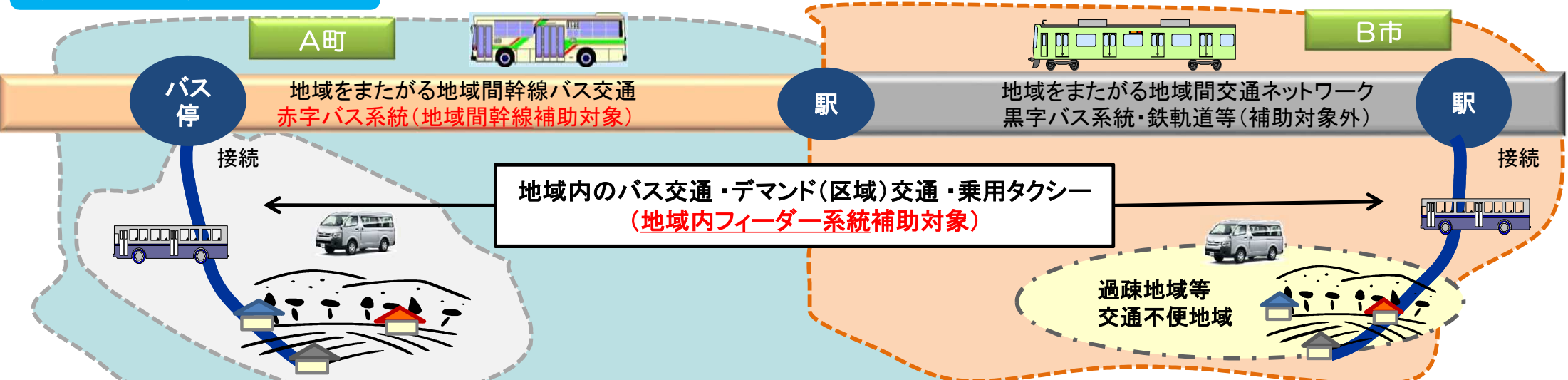
補助内容

- 補助対象事業者
地域公共交通活性化再生法に基づく協議会
※令和6年度まではバス事業者等も対象
- 補助対象経費
補助対象系統に係る経常費用から経常収益を控除した額



- 補助率
1／2以内
- 主な補助要件
市町村等が定めた地域公共交通計画に確保又は維持が必要として掲載され、
 - ・一般乗合旅客自動車運送事業者、一般乗用旅客自動車運送事業者、自家用有償旅客運送者による運行であること
 - ・補助対象地域間幹線バス系統等に接続するフィーダー系統であること
 - ・新たに運行を開始するもの又は公的支援を受けるものであること
 - ・路線定期運行の場合、輸送量が2人／1回以上であること
 - ・経常赤字であること

補助対象系統のイメージ



※専ら政令市等が運行支援を行うもの及びその運行区域の全てが政令市等の区域内であるものは除外
※交通不便地域は、地方運輸局長等が指定する地域
※乗用タクシーは、過去に乗合バス事業等による乗合旅客の運送を行っていた地域であって、乗用タクシー以外の輸送手段が無いと地方運輸局長が認めた地域に限る

各路線における目標と実績

路線名	運行回数		1 運行(片道) あたり乗車人数	
	計画	実績	計画	実績
イッシーバス小牧線	351回	351回(100.0%)	2.70人以上	2.20人(-0.50人)
イッシーバス徳光・鰻線	345回	345回(100.0%)	3.75人以上	3.05人(-0.60人)
あいタク畠久保・西方線	294回	85回(28.9%)	1.35人以上	1.33人(-0.02人)
あいタク池田線	296回	519回(175.3%)	1.45人以上	1.82人(+0.37人)
あいタク魚見線	294回	450回(153.0%)	1.80人以上	1.67人(-0.13人)
あいタク鰻線	296回	533回(180.0%)	1.60人以上	1.64人(+0.04人)
あいタク尾下線	104回	53回(51.0%)	1.10人以上	1.00人(-0.10人)
あいタク開聞線	120回	240回(200.0%)	1.15人以上	1.00人(-0.15人)
イッシーバス小牧線(補完)	90回	90回(100.0%)	2.70人以上	1.75人(-0.95人)
イッシーバス徳光・鰻線(補完)	99回	99回(100.0%)	3.75人以上	3.65人(-0.10人)

注1：カッコ内は、計画値との比較になります。

注2：あいタク畠久保・西方線は、運行実績回数が運行計画回数の30%を下回ったため、補助対象外となります。